

2007年度活動方針

1. 地協主体の活動

- (1) 『第34回定期大会』は、2008年9月に開催します。
- (2) 『常任幹事会』は、年度の初回(第70回)を2007年10月に開催し、年間活動計画を立案し、活動がスムーズに展開するよう努めます。
- (3) 『幹事会』は、秋季組織強化期間中と2007年1月(第94回中央委員会オルグ)の2回開催を基本とし、拡大幹事会を2008年6月(第56回定期大会オルグ)に開催します。
- (4) 『地区協議会(地区協)』は、各地区協で適宜開催して、「常任幹事会」の決定事項の伝達や、地区協内の活性化に向けた取り組みを進めます。今年度も、「幹事会」の開催を限定していることから、「常任幹事会」開催後は「地区協幹事会」をすみやかに開催したり、また各地区協独自の判断で適宜開催するなど、意志疎通の徹底を図ります。
また、「地区協幹事会」には、各地区協内で電機連合加盟組合のみならず、関係・関連組合との日常的な友好・信頼関係を築きつつ、参加を求めていきます。
- (5) 『組織拡大委員会』は、電機本部「組織推進オルガナイザー会議」や連合静岡「組織拡大委員会」と連動して開催し、その情報をもとに新たに配置する組織推進オルガナイザーと連携して、組織拡大の推進を図ります。
- (6) 『組織財政委員会』は、第94回中央委員会に提案される「地協会費一元化の方針」を踏まえて、また地協活動の見直しにも踏み込んで財政の健全化に向けた検討を進めます。
- (7) 『書記長会議』は、円滑な地協活動を進めるための実務の周知と、組織の要としてのリーダー育成を目的として2007年10月に開催します。
- (8) 『電機静岡全労済運営委員会』では、全労済静岡県本部50周年を契機に「みんなでたすけあい、豊かで安心できる社会づくり」という理念を再認識して、さらに組合員に対する共済活動の浸透を図ります。
- (9) 『議員団会議』は、連合静岡「政策委員会」、電機東海ブロック「フォーラム議員団会議」との関わりをより深めた活動を目指します。
- (10) 『男女参画委員会』は、これまでの5年間の活動をふまえ、地協の中での役割を十分に理解したうえで、電機連合本部の方針に沿った活動を展開します。また地協というスケールメリットを活かし、メンバーによる情報交換や意見交換などを通じて、現場としての意見を本部に伝える役割を担います。活動の柱として「三役会」「全体会議」「加盟組合への活動報告」を実施します。「全体会議」に参加しやすい環境を整えるため、本年度も加盟組合から男女1名ずつの委員登録をお願いします。委員長は「常任幹事会」へ、三役は「幹事会」へ参画しながら、地協活動への意見反映を行っていきます。さらに連合静岡の「青年委員会」「女性委員会」へ役員を派遣し、上部団体との連携強化を図ります。
- (11) 『第25回労使会議』は、設営担当の「パナソニックモバイルコミュニケーションズ労組静岡支部」と連携して、2008年6月に開催します。
- (12) 地協独自の『ボランティア活動』は、2006年度の方針を基本として、“第4次カンボジア井戸掘りボランティアの派遣”、“BOXティッシュの販売”、“冠行事の実施”、“ドナーカードの登録活動”を行います。また、活動の点検を行い、活動内容の見直し・拡大を行って、ボランティア基金のより有意義な運営を目的とした委員会の設置を検討します。

- (13) 地協の歴代役員で構成する『OB会』は、2008年1月に第13回総会を開催します。
また、会員相互が継続して活発に交流できるようにイベント行事の開催を検討します。
- (14) 地協役員が更新・運営できるホームページにリニューアルし、情報更新のスピードアップと加盟組合から親しまれる内容の充実に努めます。

2. 電機共済加入促進の取り組み

従来の1～2月統一募集中心の取り組みから、加盟組合の個別事情を踏まえた上で自主目標を設定し、年間活動の中で計画的な加入促進に取り組めるよう働きかけて対応します。

3. 2008年総合労働条件改善闘争における地協の取り組み

2008年1月の「幹事会」にて電機連合本部からの春闘オルグを開催します。とりわけ中堅中小の交渉組合を対象に、要求前と回答後に連絡会を開催し、電機本部からの情報提供や加盟組合間の情報交換などを行い、闘争ノウハウを高めて成果に結びつく活動に取り組みます。

4. 政策制度改善の取り組み

昨年に引き続き、連合や電機連合の方針に基づいた各種の取り組みに対して、地協政治顧問の意見も盛り込みながら積極的に対応します。

5. 政治活動の取り組み

民主党は第21回参議院選挙において大躍進を果たした結果参議院第1党となりました。選挙後の内閣支持率も低迷する中、今後の国会運営には大きな波乱も予想されます。このような情勢において、いつ衆議院の解散総選挙があっても対応できるように、加盟組合との意識の共有を強めて国民主権の政治が実現できるように努めます。

6. 改革フォーラムの取り組み

地協政治顧問と連携して、政策制度改善や政治への参加意識の高揚などの取り組みに努めます。

7. 最低賃金の取り組み

地域別最低賃金（静岡県最低賃金）の改善にあたっては、連合静岡の最低賃金委員会に委員を送り、取り組みを進めます。具体的には、「目安基準を上回る水準の確保」を重視して取り組みます。また、静岡県内5業種の産業別最低賃金の水準改善にも取り組みます。特に、電機産業に関わりの深い「電気機械器具製造業」の最低賃金については、委員を派遣し、年内発効を目指して改善に取り組みます。なお、2008年度の改定申請に向けては、2008年4～6月の間に地協加盟の対象組合に「企業内最低賃金協定書」の提出をお願いしていきます。

8. 電機連合東海ブロックの活動

電機連合東海ブロック（愛知・岐阜・三重・静岡）での行事は、東海4県で持ち回りの設営となります。各行事に対して積極的に参加していきます。

- | | | |
|-------------------------|-----------------|----------|
| (1) 『フォーラム議員団会議』 | 07年11月 8～9日 | (三重地協設営) |
| (2) 『電機共済推進会議』 | 07年11月26～27日 | (三重地協設営) |
| (3) 『ユニオンセミナー』 | 07年11月30～12月 1日 | (愛知地協設営) |
| (4) 『事務局長会議』 | 07年12月10～11日 | (岐阜地協設営) |
| (5) 『キャリア開発推進者レベルアップ研修』 | 07年12月 7～8日 | (愛知地協設営) |

- (6) 『議長・事務局長会議』 08年 5月13～14日 (岐阜地協設営)
- (7) 『最賃担当者会議』 08年 8月 (岐阜地協設営)

9 . 電機連合の活動

電機連合本部の方針や要請に基づき、主要機関会議への出席や各種活動に取り組みます。

10 . 連合静岡活動への参画

「連合静岡」は2007年10月19日に第18回定期大会を開催し、活動方針を決定します。これまで通り機関会議への参加、役員委員の派遣、行事・集会に参加していきます。また、連合運動が変革の時期を迎える中で、連合静岡の提案に対して電機静岡としての積極的な意見反映に努めます。

11 . 自主福祉事業団体活動への取り組み

労働者福祉協議会からの要請で、多くの加盟組合から選出されている各団体役員との情報交換を密にして、運動の方向性を確認しながら電機静岡として一体感を持って活動に取り組む努力をします。

以上